

青牛式トレードマスター講座

青牛式資金管理 -完全版-

このコンテンツでは、5万円を100万円にすることから始まり、私自身があらゆる試行錯誤を重ねる中で、「暫定的に完成した」と自負する資金管理について解説していきます。



まず理解しておくべき重要な考え方は、「人の認知機構は、複利による資金の増減に対応できるほど柔軟には設計されていない」ということ。

青牛式トレードマスター講座

いわゆる損得勘定自体は、個々の性格やバックボーンに大きく左右されるわけですが、基本的にはプロスペクト理論に代表されるように、「損失には過剰に反応する」のが人間というものですよね。

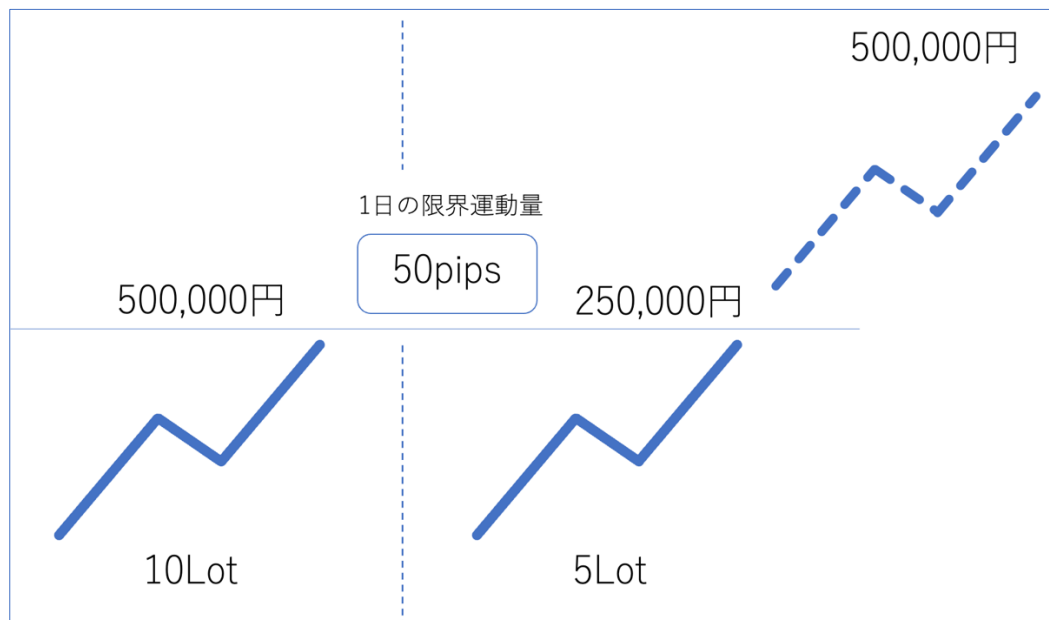
確かに、複利で機械的に運用できるのであれば、それはそれは効率的に驚異的なスピードで資金を増やしていくことができますが、利益よりも損失に過剰に反応してしまう認知機構を持つ脳をコントロールすることは、言葉で言うほど容易なものではなく、巷の理想論を見聞きした程度ですぐに実行できるものではありません。

私自身、口座資金の増加に伴って、運用口座に投入する資金量を増やしたことも当然ありますが、それによって起こる最大の弊害として、**「金銭感覚が狂う」**というごくありふれた状態に意図せずになってしまいました。

つまり、同じ獲得 pips であっても、ポジションサイズを大きくすれば当然、損益も比例して大きくなるわけで、一旦、大きい資金でのトレードに慣れてしまうと、ポジションサイズを小さくしたトレードの際に、損益表示に満足せず

青牛式トレードマスター講座

に限界運動量等を見した自己都合でポジションを伸ばそうとしてしまいま
す。（下図）



この状態になると、何より口座資金の増減が非常に荒れてしまい、フォームも崩す恐れも出てきます。

こういう実体験による試行錯誤を踏まえて、「現時点ではこれが最強」という資金管理術を形にすることができました。

※基準とする資金量は、各自の総資金などによって調整してください。

青牛式トレードマスター講座

○青牛式資金管理

現在、私が口座に投入する資金の基準は 30 万円。

そして、1 回目のトレードで損失を出し 25 万円になった場合、ストック口座から 5 万円を補填し、また 30 万円からスタートします。

※ストック口座は、bitwallet を使用しています。

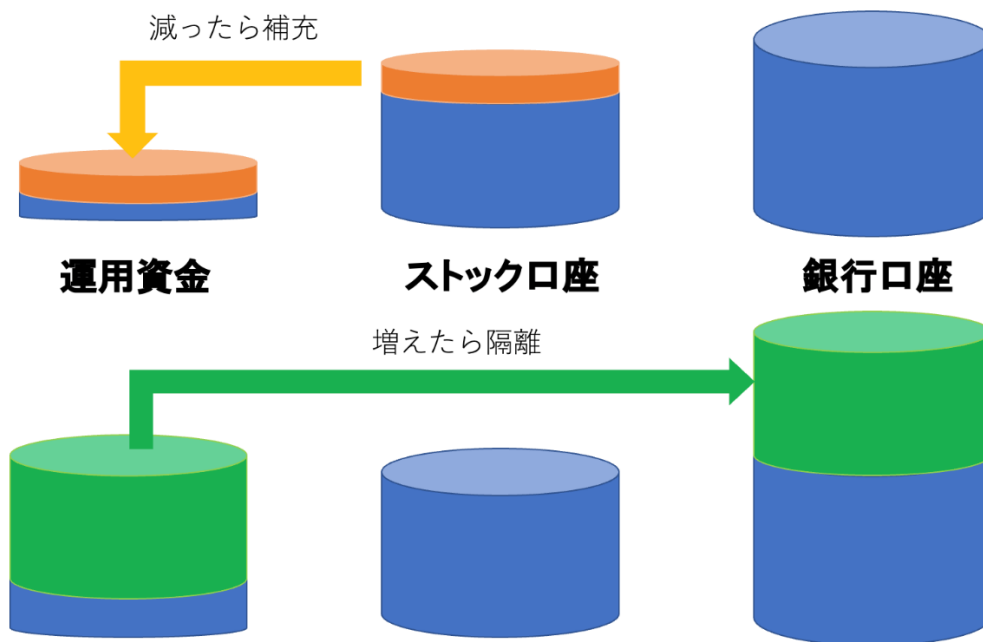
この方法の最大のメリットは、口座資金が減るに比例して損失を取り戻そうとしてトレードが雑になるリスクを回避できること。

基準額まで口座資金を戻すことで、フラットな気持ちで相場と向き合うことが可能になります。

そして、100 万円に到達した時点で、70 万円を銀行口座に移動させ、また 30 万円からスタートします。

青牛式トレードマスター講座

例外的に、目の前のセッアップが鉄板パターンである場合には、100 万円以上の資金でトレードすることもあります。大切なことは瞬間最大風速を伸ばすことではなく、中長期的に捉えて安定して利殖していくこと。



つまり、メンタルへの負荷を限りなく抑え、資金の増減に惑わされない環境を自ら整えることが大切ということですね。

青牛式トレードマスター講座

一時は、日常的に 500 万通貨以上でトレードをしていたこともありますが、今の私にとっては、30 万円の資金で 100 万通貨弱のポジションサイズで利殖していくリズムが丁度良く、心地良いという結論に至りました。

なので、どれだけ口座資金が増えようと、週末には必ず出金して 30 万円からスタートします。

また、ここからがもう一つ重要なことなのですが、**ストック口座に入れる資金すら必要最低限にして、残りは全て「妻の」銀行口座に移し隔離すること。**

なぜここまでの仕組み、暴走できない対応を作っているのかというと、何を隠そう私自身が過去にカード決済での入金によって 200 万円以上の負債を抱えたことがあるから。

一度でもそれをやってしまうと、ギャンブル依存症と全く同じ状態になってしまい、後に引けなくなってしまう。それゆえ、**証券会社に即入金できる**

青牛式トレードマスター講座

口座 (bitwallet) と、すぐに入金できない妻の銀行口座という 2 本立てで管理しているのです。

運用資金を増やす目安としては、銀行口座に入っている資金が運用資金の 30 ～50 倍になることを目安にするといいでしょう。

そして、ストック口座には 2 回分、多くても 3 回分の資金が入っていれば十分。

種 別	金 額
運用資金	50,000 円
ストック口座	100,000 円
銀行口座	2,500,000 円

この表の金額配分を一つの目安とし、銀行口座が 50 倍を達成したら運用資金を段階的に増やしていくといいでしょう。

また、銀行口座の目標金額（何倍）設定は、個人の裁量で判断してください。（30 倍でも全然 OK です）

青牛式トレードマスター講座

最後に、目標金額の設定の重要性について説明します。

情報発信者の個々の見解によって、目標金額の設定の是非は別れますが、私の見解としては、**目標金額の設定は「すべき」**

その理由は、ただでさえ相場は土日を除く 24 時間オープンしており、そこにきて目標金額を設定していないと、際限なくトレードしてしまったり、自己都合で含み益を伸ばそうとしてしまいます。

なので、1 ヶ月の目標金額を決め、そこから逆算した日利の基準額、獲得 pips、1 週間のノルマなどを算出し、コツコツと積み上げていく方法が最も堅実であり、現に私はそのようにしています。

「爆損は爆益の後に訪れる」とは、トレーダーあるあるなわけですが、こういう事態を回避するためにも、目標金額に大きく近づく利益を 1 日であげた時などは、**一旦相場から離れることも大切**です。

青牛式トレードマスター講座

時には間をとったり、全体的な流れを俯瞰するためにも、このようなルールを定めておくことをお勧めします。

なぜ私がここまでやるのか。

それは、**熱くなってしまった時の自分を信用していない**から。

だからこそ自分を拘束するルールを設定し、相場で生き抜く確率を担保しているのです。

絶対的な正解はありませんが、少しでも参考になれば幸いです。

あをうし

